

第439回白石市議会定例会 一般質問通告書

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	18番 松野久郎	<p>1. 令和2年度施政方針について</p> <p>令和2年度は「教育改革」をさらに推進するとともに、市民主導による持続可能な地域づくりを推進するため、地域を担う人材の育成を図る取り組みを充実させ、さまざまな目標の実現に向けて「勇往邁進」するとの市長の表明がありました。市政運営に対する市長の施政方針について質問をいたします。</p> <p>(1) 「しろいしSunPark」が宮城県南地域の拠点となり、市全体にさまざまな波及効果が広がるよう、積極的なPRと運営事業者への支援を引き続き行うことを踏まえ質問をいたします。</p> <p>① 「こじゅうろうキッズランド」はオープンから約1年6ヵ月で13万人を超える盛況ですが、指定管理者委託料等で22,967千円を計上しております。今後も毎年委託料が発生しますが、その他に施設の維持費用も発生してきます。これらを考慮し基金の創設も必要と考えますが、市長の所見を伺います。</p> <p>② 昨年4月にオープンした農産物等販売施設「おもしろいし市場」は、オープンから約9ヵ月で34万人を超える方々に利用していただいておりますが、これまでの収支と地元農業者や地元物産事業者等への販路拡大状況について伺います。</p> <p>③ 本年4月に予定される地元食材活用レストラン「みのりKitchen」のオープンを迎えますが、先に事業化している「みのりLabo」や6次産業化加工施設「みのりFactory」の事業成果と経営収支状況について伺います。</p> <p>④ これら「しろいしSunPark」を維持していくために、今後委託料や維持管理費等が毎年かかると思いますが、その費用をどの位と試算しているのか、また、どこから捻出していく計画なのか伺います。</p> <p>(2) 「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり」について質問をいたします。</p> <p>① 地域経済の発展や活力ある地域社会の形成を図るとありますが、具体的な取り組み内容とその効果について、市長の所見を伺います。</p> <p>② 人口・経済・地域社会などの課題解決につなげるための指針として、白石版地方創生総合戦略「白石市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」及び「総合戦略」」に取り組んできました。「第五次白石市総合計画」最終年度としての取り組み内容と「第六次白石市総合計画」にどのようにつないでいく構想なのか、市長の所見を伺います。</p> <p>(3) 「豊かな感性と人間性を育み、伝統文化を継承するまち」について質問をいたします。</p> <p>① 学校教育の充実では、「白石学びの環境づくり事業」を掲げております。これまで学力向上プロジェクトにおいて、授業改善等のさまざまな取り組みを行い、明らかになった本市の課題から新たな事業として、教員を対象とした研修を掲げておりますが、これまでの授業において</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	18番 松野久郎	<p>教員にどのような課題があったのか、教員の質の向上が他の市町村と比べてどうなのか伺います。</p> <p>② 小原小学校・小原中学校を小中一貫校のカリキュラムに編成し、特色ある小規模特認校としてスタートするとありますが、どのような特色を計画されているのか、また、どのような学校を目指し少子化に対応していくのか伺います。</p> <p>(4) 「安心して子どもを産み育て、心やすらかに暮らせるまち」について質問をいたします。</p> <p>① 子育て世代包括支援センター整備事業においては、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を目指すとあります。これまで取り組んできた「地域子育て支援センター」との違いについて伺います。</p> <p>② 健康づくり支援において、仙台大学と連携した新規事業の「働き世代から始める健康づくり推進事業」について、具体的な取り組みとスケジュール及び対象者の募集方法や定員をどうするお考えなのか伺います。</p> <p>(5) 「市民が主役になって地域をつくり、交流を楽しむまち」について質問をいたします。</p> <p>① 外国語・国際理解教育推進事業について、新規導入する中国・上海への中学生派遣は、異文化に対する理解を深め、多様な価値観や国際的な広い視野を持つ生徒の育成を図るとありますが、中国・上海を選択した理由について伺います。</p> <p>② 福島圏域連携推進協議会への参画は、交流人口と関係人口の拡大に期待するところが大きくあります。これまでの協議会を通して具体的な取り組み状況と今後の施策について伺います。</p> <p>③ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会での「ベラルーシ新体操ナショナルチーム」の活動支援として、本大会への応援ツアーの具体的な要項について伺います。</p> <p>(6) 「産業に活力を生む新しい価値を創造し続けるまち」について伺います。</p> <p>① 定住促進について各種補助金事業を行っております。また、「白石市移住交流サポートセンター109-one」を基点とした各種活動を行っておりますが、本年度の成果と成果を踏まえた令和2年度での取り組み計画について伺います。</p> <p>② 平成28年度に策定した「白石市空家等対策計画」の進捗状況と「空き家バンク事業に関する協定」による効果について伺います。</p> <p>③ 交流人口の拡大を目指し関係団体等との連携を強化するとありますが、令和元年度はどのような成果があったのか。また、令和2年度の取り組みに対する見込みについて伺います。</p> <p>(7) 「美しい自然を受け継ぎ、安全で快適に過ごせるまち」について質問いたします。</p> <p>① 自主防災組織への支援では、新たなハザードマップを</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	18番 松野久郎	<p>市内全戸へ配布するとなっております。現在、各地区に設置の土砂災害避難誘導総合案内板との整合性と自主防災組織についても地域毎に温度差を感じることから市長の所見を伺います。</p> <p>② 水道事業においては、昨年より民間に委託した料金業務について費用対効果はどうであったのか、また、令和2年度にさらなる民間活力の導入を図るとありますが、どの部分について導入し、その効果をどのように分析しているのか伺います。</p> <p>③ 市民バスは、利用しやすい公共交通網形成のための時刻やルートなどの見直しを行い、利便性の向上を図るとあります。特に中学校への通学で使用している白川地区、越河・斎川地区については、市民バスを利用していることから、中学校統廃合1年を迎え、支障も出ていると聞いていることもあります。改めて保護者や生徒へのヒアリングが必要と思いますが、いかがか伺います。</p> <p>(8) 「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市へ」について質問いたします。</p> <p>① 健全財政に努めながら、厳しい財政状況下においても効率的で質の高い行政サービスの実現を目指し、新たな自主財源として「ふるさと納税寄附金」やスマートインターチェンジの整備で、交流人口や関係人口の拡大等を掲げております。財政面での効果をどの程度になると試算しているのか、市長の所見を伺います。</p>	市長 教育長
		<p>2. 新型コロナウイルス対策について</p> <p>新型コロナウイルス（COVID-19）は、国内においても感染者が毎日のようにふえております。本市においても広報しろいし等への折り込みやホームページで問い合わせ先等の周知を行っているところですが、以下に質問をいたします。</p> <p>(1) 本市では発症者は確認されておりませんが、県内外からの交流人口もあります。現在のコールセンターで対応しているのは、中国（湖北省）から帰国した方や、このような方と接触した方で、帰国または接触から2週間以内に発熱や咳などの呼吸器症状がある場合となっております。それ以外の患者で症状が似ている場合、どのような行動をとるべきなのか、周知されているかかりつけの病院等への電話での相談だけなのか、市民の皆さまが安心できる手段を構築し丁寧に周知する必要があると思いますが、市長の所見を伺います。</p> <p>(2) 宮城県内で感染の疑いがある患者が発生した場合、県と仙台市は、隔離施設のある7カ所の感染症指定医療機関への入院を勧告するとなっております。仙南では軽症者を含めて受け入れる「第2種」に公立刈田総合病院（4床）があります。県内では症状の発生は確認されておりませんが、福島県では、クルーズ船の乗船者を受け入れて市民の動揺が広がっております。他県から受け入れの要請が公立刈田総合病院へあった場合の対応について、市長の所見を伺います。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
2	3番 伊藤勝美	<p>1. 施政方針について</p> <p>(1) 市民主導による持続可能な地域づくりを推進するため、地域を担う人材の育成を図る取り組みを充実させ、さまざまな目標の実現に向けて「勇往邁進」する所存ですとのことですが、市民にとってどのように解釈をすればいいのか、お聞かせください。</p> <p>(2) 昨年10月の台風第19号は本市に大きな被害をもたらしましたが、被害を受けた道路・河川・橋梁・側溝・農地・用水路・ため池等の災害復旧の見通しについて、見解を伺います。</p> <p>(3) 白石版地方創生総合戦略『白石市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」及び「総合戦略」』は、人口・経済・地域社会などの課題解決につなげるための指針として、平成27年度に策定されました。しかし、国では東京一極集中、本県においては仙台市への一極集中が加速していると報道されております。このような現状を踏まえ、本市においても地方創生への取り組みは重要課題であると認識しておりますが、これまでに取り組んできた事業の評価と今後の課題等についての見解を伺います。</p> <p>(4) 1つ目の目標「豊かな感性と人間性を育み、伝統文化を継承するまち」について</p> <p>① 「教育改革元年」と位置づけて、令和元年度からスタートした「白石市学力向上プロジェクト」における授業改善等のさまざまな取り組み・施策について、どのような評価をしているのか、また、その効果の検証を行うなかで、明らかとなった本市の課題とは何なのか、お聞かせください。</p> <p>② 教育への投資は、白石市の将来への投資であり、何よりも優先すべき重要な投資であると考えます。それから、学校はさまざまな教育活動によって学力向上を図るとともに、個々の人格形成が促される重要な役割を担う場であると考えております。</p> <p>そこで、子供たちが安全に安心して学校生活を送り、意欲や自信を持って過ごすことのできる、教育環境づくりの取り組みと改革に努めていただきたいと思います。市長はいかに白石の教育環境の充実を図ろうとしているのか、市長の率直な見解を伺います。</p> <p>(5) 2つ目の目標の「安心して子どもを産み育て、心やすらかに暮らせるまち」について</p> <p>① 子育て支援の新たな拠点となる「子育て世代包括支援センター」の具体的な取り組みと運営についてお聞かせください。</p> <p>② 本市では、平成30年1月から2月にかけて、子供の将来が生まれ育った環境で左右されないようにするための必要な支援をするということで、「子どもの生活に関するアンケート調査」を実施し、「子供の貧困に関する実態調査」について取りまとめていると思いますが、本市の実情に応じた効果的な施策と今後の見通しについての見解をお聞かせください。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
2	3番 伊藤勝美	<p>③ 本市の少子化に伴う今後の子育て施設としての保育所等の再編計画や見通しについて、見解をお聞かせください。</p> <p>④ 高齢者支援は、令和3年度からの3カ年を計画期間とする「白石市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」の策定を進め、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護の連携や認知症施策などの推進を図りますとありますが、具体的な取り組みについてお聞かせください。</p> <p>⑤ 地域医療の確立は、白石市医師会や仙南歯科医師会白石支部とさらなる連携を図り、安全・安心な医療の提供体制強化に努めますとありますが、本年1月8日付にて、「公立刈田総合病院からのお知らせ」が「広報しろいし」とともに全戸配布されました。このお知らせには、「整形外科常勤医師2名体制で診療してきたが、それぞれの医師が本年3月末と4月末で退職することから、整形外科の外来診療は3月末までは現状どおり、4月以降は未定となる。また、手術及び入院診療は本年2月末で終了し、以降の整形外科救急診療は対応できない」という内容でした。</p> <p>整形外科診療が中止された場合、実際に整形外科治療を待っている方々ばかりか、高齢者が増加している白石市において、けがや事故などのあったときのことを考えると、その不安は大きくなるばかりです。また、他の病院に行くための足が高齢者にはありません。この件で市内には動揺が広がっており、正に、市民の安全安心に直結する憂慮すべき事態と考えますが、市長の見解を伺います。</p> <p>(6) 3つ目の目標「市民が主役になって地域をつくり、交流を楽しむまち」について</p> <p>① 自治組織の合併について伺います。市民と行政の協働のまちづくりは重要であります。市長も施政方針の中で、市民主導による持続可能な地域づくりを推進するとうたっておりますが、このまちづくりの基礎組織となる地域の自治会組織が高齢化や少子化の影響もあり、構成世帯に大きな格差を生じております。この格差を埋めなければ、市長の言う住民自治組織の強化を図ることは難しいと思います。</p> <p>自治組織の合併は、現場からの発案が基本であることは十二分に承知しておりますが、隣接する自治組織等のわだかまりがないにもかかわらず、過剰な心配が付きまとい、前に進まないのが現実であります。また、住民の地域活動に伴う最低限の役職の任命さえ大変苦労しているのも現実であります。</p> <p>そこで、小さい規模の自治組織は、行政主導で合併の模索をする時期に来ていると考えますが、市長の見解を伺います。</p> <p>② 本年は「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催されます。本市と柴田町、仙台大学で設立し</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
2	3番 伊藤勝美	<p>た「白石市・柴田町・仙台大学東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会」や「ベラルーシ新体操SAKURAファンクラブ」と連携してベラルーシ新体操ナショナルチームの活動を支援するとともに、本大会への応援ツアーを実施します。さらに、ホストタウンとしてベラルーシ新体操ナショナルチームの活躍を多くの市民が応援できるよう、ライブ放送によるパブリックビューイングを実施しますとありますが、それらのことを実施することによって期待される効果として、どのようなものがあるのでしょうか、見解をお聞かせください。</p> <p>(7) 4つ目の目標の「産業の活力を生む新しい価値を創造し続けるまち」について</p> <p>① 定住促進は、市内に住宅を取得された方への「白石市定住者補助金事業」や「白石市民住宅取得補助金事業」、新婚家庭への「白石市新婚家庭家賃補助金事業」を継続します。また、移住定住の拠点施設として定着してきた「白石市移住交流サポートセンター109-one」を基点として、首都圏からのUIJターンの促進と交流人口・関係人口の拡大による地域活力の向上を図りますとあります。本年も各種事業を継続するということですが、現在の状況と成果等の評価、また課題等についてお聞かせください。</p> <p>② 次に、交流人口の拡大についてであります。交流人口の拡大により、本市の魅力を知り、リピーターとなり、かつ将来の定住につなげるためには、本市の豊かな自然、食、歴史、文化など、魅力的なコンテンツを生かし、本市を訪れた方が「また来たい」、最終的には「白石市に住みたい」と思ってもらえるような取り組みが重要であると考えますが、市長の所見を伺います。</p> <p>③ 企業誘致は、産業の振興や雇用の確保を図るため、今後も企業立地セミナーの参加や関係機関との連携などトップセールスによる企業誘致活動を積極的に行うとともに、市内立地企業への訪問活動を行い、よりよい関係構築を図りますとありますが、昨年の企業誘致活動の取り組み状況と成果・課題等について、また、今後の県内外企業への誘致活動の具体的な方策等についての見解をお聞かせください。</p> <p>④ 中心市街地の活性化については、地元商店組合などが行う中心商店街活性化事業への助成や各種観光施策との相乗効果により、賑わいの創出を図りますとありますが、「中心商店街活性化事業」の具体的な取り組み内容と、その総括がどのようになっているのか、また、令和2年度において、新たに取り組む施策としては、どのようなものをお考えなのか、見解をお聞かせください。</p> <p>⑤ 農林業の振興は、「農地中山間管理事業」を活用した農地集積を推進し、生産現場の強化と耕作放棄地の発生防止に努めますとありますが、事業の現状と成果・課題等について、また、これまでも農地の集積、集約化を図ってきておりますが、本市の集積、集約化の目標とする数値と具体的な対策についての見解をお聞かせください。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
2	3番 伊藤勝美	<p>(8) 5つ目の目標の「美しい自然を受け継ぎ、安全で快適に過ごせるまち」について</p> <p>① 昨年の台風第19号の被害を教訓に、「白石市地域防災計画」の見直しを行い、さらなる防災体制の充実に努めるとともに、災害に強い安全・安心なまちづくりを目指しますとありますが、地域防災計画について、具体的にどのような検証を行って改定をしていく予定なのか、見解を伺います。</p> <p>② 防災体制強化の推進に関して、タイムライン、いわゆる事前防災行動計画の整備について伺います。各種組織が行う避難訓練も重要ですが、国土交通省は、災害がいつどこで起きるかわからないゆえ、世帯ごとや個人のマイ・タイムラインの啓蒙、啓発も促しております。これらに関して本市は、どのように取り組まれているのか、見解を伺います。</p> <p>③ 公共交通網の確保は、日常の生活の足となる市民バスや乗合タクシーの運行を継続し、より効率的で効果的な運行に努め、引き続き便利で快適なまちを目指しますとありますが、本市においても高齢化が急速に進み、車を持たない買い物難民、病院への通院難民が目に見えてふえております。そこで、きめ細やかな公共交通の充実を望むところではありますが、見解をお聞かせください。</p> <p>④ 水道事業について、県が「みやぎ型管理運営方式」を導入することにより、料金の抑制を各種措置により図るとしています。本市の料金改定に影響が出ると考えますが、見解を伺います。</p> <p>⑤ 下水道事業について、広域連携に向けての本市としての主要な検討課題をどのように捉えているのか、見解を伺います。</p> <p>⑥ 都市環境の整備についてですが、年々、市内建設業者の仕事が減少しているようです。市民の安心、安全の確保を図るため、災害緊急時や除雪などに迅速に対応するには、地元の建設業者の協力が必要不可欠であると考えます。そこで、市財政も厳しくなる中での公共事業のあり方について、新規建設から防災、老朽化に備えた維持更新へ、また大規模事業より雇用に役立つ小規模事業、そして住民生活密着・地域循環型へと地域経済再生に役立つ公共事業政策を進めるべきだと考えますが、見解をお聞かせください。</p> <p>(9) 人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市へ！について</p> <p>① 「公共施設等総合管理計画」に基づく「個別施設計画」を策定し、各公共施設の更新や統廃合、長寿命化などを計画的に管理するとありますが、令和2年度はどの程度まで検討を進める予定なのでしょう。また、具体的にどのような検討を行い、そのことによって期待される効果として、どのようなものがあるのか、見解を伺います。</p> <p>② 今後における予算編成については、生産年齢人口を中心とする人口減少などに伴い、安定的な税収の確保が維持できるか不透明な状況であり、地方交付税についても人</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
2	3番 伊藤勝美	<p>口減少等に伴う減収が見込まれております。また、歳出面においては、インフラの整備に伴う公債費の負担に加え、維持管理経費の増加などが見込まれている状況下において、長期的な計画のもと財政運営を図っていくことが必要であると考えます。</p> <p>やはり、将来にわたり持続可能性を高めるために最も確実な手法は、歳出削減であります。歳出削減への道のりは苦渋の選択の連続と思いますが、着実に実行することが持続可能性を高めるために求められます。持続可能性という大義のためとはいえ、市民サービスへの影響も懸念されることから、市民の反発は避けては通れないことでもあります。</p> <p>そこで、歳出削減へ向け、少しでも市民の理解と協力を得るためには、市民への十分な説明はしなければなりません。そして、今後10年を目安にした、人口減少による地方交付税の減少や扶助費の増加、予想される歳入歳出の資料をもとに、市民にわかりやすい削減方針を早々に打ち出すことが最も大事なことだと考えますが、市長の見解を伺います。</p>	市長
3	11番 佐久間儀郎	<p>1. 令和2年度施政方針について</p> <p>(1) 市長は「教育改革」をさらに推進するとともに、市民主導による持続可能な地域づくりを推進するため、地域を担う人材の育成を図る取り組みを充実させ、さまざまな目標の実現に向けて『勇往邁進』する所存であること、また、白石市を「住みたいまち」「住み続けたいまち」とし、「市民の笑顔あふれる白石」の実現とともに『選ばれるまち』となるよう全力を尽くすと表明されました。</p> <p>勇往邁進は、辞書をひくと目標や目的に向かって、恐れることなく真っすぐ進むこと、と解説されています。実に力強く活気ある表現であると思います。</p> <p>そこで、この四字熟語をお使いになられた市長の心境、また、「選ばれるまち」を新たに加えられた思いをお伺いします。</p> <p>(2) 令和3年度からの新たな将来像となる「第六次白石市総合計画」の策定において、人口減少や少子高齢化などの社会情勢が大きく変化する中であっても、未来の白石市を担う人材とともに、地域を牽引するリーダーを始めとする地域を担う人材を育成し、市民の意見を反映するように創りあげる。また、第六次総合計画との整合性を図るとともに「関係人口の創出と拡大」「人材育成」の視点も加え、「第2期白石版創生総合戦略」を策定することを表明されました。</p> <p>共通して「人材育成」を重視されているようですが、総合計画と戦略の整合性をどのようにお考えになっているのかを伺います。</p> <p>(3) 昨年9月に必要性が認められ、国の準備段階調査に採択された「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ」の整備について、交流人口や関係人口の拡大と円滑な物流の確</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	11番 佐久間 儀 郎	<p>保など、地域間の相互連携により相乗効果を生み出す『地域活性化の起爆剤』と考えていると表明されました。また地元企業からも大きな期待が寄せられており、整備によって、新たな企業誘致の実現や企業活動の支援、中心市街地の活性化や観光振興、地域医療の充実、災害支援など、さまざまな効果が期待できると強調されています。</p> <p>市長がおっしゃるように、本市が一層の成長を成し遂げていくためには、地域間のネットワークを強化するための幹線道路を始めとする社会基盤整備が必要不可欠です。市議会では「スマートインターチェンジ設置推進特別委員会」を設置することで、スマートインターチェンジの早期の実現を標榜してきています。</p> <p>事業化について、各方面に向けた活動と市長の改めでの決意を伺うとともに、新たな雇用の場の創出を図るため、「(仮称) 白石中央スマートインターチェンジ」を活用した工業団地の整備に向け、具体的計画の策定と企業情報の収集に取り組むと明確に表明されましたことから、その具体策についてもお伺いします。</p> <p>(4) 「第五次白石市総合計画」に掲げた5つの目標のうち、1つ目の目標「豊かな感性と人間性を育み、伝統文化を継承するまち」で、＜学校教育の充実＞において、今般、さまざまな施策を明らかにされました。なかでも文部科学省による「小中学校英語教育特区」の認定を目指すことや、小原小学校・小原中学校が、通称「小原学園」として小中一貫のカリキュラムを編成し、特色ある小規模特認校としてスタートさせるとの表明がありました。</p> <p>この英語教育特区を目指すこと、そして「コミュニティ・スクール制度」導入を決めるに至った経緯・背景についてお伺いします。</p> <p>(5) 2つ目の目標「安心して子どもを産み育て、心安らかに暮せるまち」のなかで、＜子育て支援＞において「子育て世代包括支援センター」の年度内設置に向けて準備し、母子保健施設と子育て支援施策の一体的な提供体制の構築、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を目指す、と表明されました。</p> <p>私は平成29年9月定例会において「子育て支援『日本版ネウボラ』の導入について」と題して一般質問を行なったことがあります。その際に、児童福祉法および母子保健法の法改正に応じて、妊娠・出産・子育てをワンストップで支援する拠点に、いわば「しろいし版ネウボラ」を導入・設置することが望ましいと申し上げました。今回の施策表明はこの実現に向けて進んでいるということですので理解していいのでしょうか。ここに至った背景、経緯をお聞かせください。</p> <p>(6) 3つ目の目標「市民が主役になって地域をつくり、交流を楽しむまち」のなかで、＜広域連携の推進＞として、「歴史的・文化的なつながりが深く、ひと・モノの交流が多い福島市を中心とする市町村で構成する「福島圏域連携推進協議会」に引き続き参画し、観光や移住・定住分野などで</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	11番 佐久間 儀 郎	<p>の県境を越えた広域連携を進める。もって交流人口と関係人口の拡大を図る」と表明されました。</p> <p>去る1月30日、福島市こむこむわいわいホールにおいて「福島圏域連携推進協議会」主催による「福島圏域広域連携セミナー」が開催され、会派同僚議員とともに参加いたしました。</p> <p>セミナー第1部では、「人口減少時代における広域連携」というテーマで明治大学政治経済学部牛山久仁彦教授が講演し、広域行政の専門的立場から「今後は単独の自治体でフルセットの行政サービスを提供することが難しくなる。自治体同士が連携して、国の制度等をうまく利用しながら連携をすすめる必要がある」と解説。</p> <p>第2部では、「福島圏域における広域連携」について、牛山教授がコーディネーターを務め、11市町村長がパネルディスカッションを行いました。各市町村の現状を踏まえ、福島圏域の課題や広域連携に期待することなどについて議論されました。特に観光や公共交通、医療等についてさまざまな意見が出され、福島圏域においてより強力に連携していくことが確認されました。</p> <p>協議会会長である木幡福島市長は、「公共施設の相互利用ができる体制、環境整備を検討したい。より効果的な連携事業を行うための財源を確保する方法のひとつとして、『連携中枢都市圏の形成』を圏域の皆様と議論していきたい」と提言されていました。</p> <p>そこで伺います。県境を越えたユニークな広域連携の意義について、また福島市長の提言に対し、どのように応えようと考えられているのかをお聞かせください。</p>	市 長
		<p>2. 緊急浚渫推進事業について</p> <p>本市は、昨年の台風第19号豪雨により広い範囲で河川の氾濫が相次いだほか、土砂災害や浸水害が発生しました。現在は激甚災害の指定を踏まえ、道路、河川、水路、ため池、農業用施設等の災害査定を受けて、本格復旧工事の過程にあるものと理解しています。</p> <p>行政当局には、応急措置も含め各種支援制度により、市民生活の再建、復旧に向け、鋭意取り組まれていることに感謝を申し上げます。</p> <p>このたびの河川水位の異常上昇は、雨量が多かっただけではなく、適宜実施すべき河床の浚渫がきちんと行われず、河床が上流からの土砂の堆積によって上昇していることによる影響も少なからずあるように思われます。</p> <p>高市総務相は年頭のあいさつで、平時から河川の堆積土砂の撤去や河川内の樹木の伐採をしておく「維持管理」の重要性につき、何度も国土交通省に伝え、対策の要請をしてきたと述べています。しかし、1級河川の指定区間、2級河川、河川法準用河川並びに普通河川の浚渫事業は、地方公共団体が単独事業として実施するしかなく、財政的な事情から進んでいないのが実態であるとの認識を持ち、今通常国会に地方自治体が河川やダムにたまった土砂やヘドロを取り除いて、</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	11番 佐久間 儀 郎	<p>氾濫しにくくする作業を総務省が支援するため地方財政法改正案を提出しています。いわゆる、「緊急浚渫推進事業費」の創設です。本来の水深を取り戻せば大雨でもあふれにくくなるため、この際、防災対策の費用を惜しんでいる場合ではないとの判断をしたものです。そこで以下についてお伺いします。</p> <p>(1) この「緊急浚渫推進事業費」創設には、関心を持たれていると思いますので、どのように受けとめているのかをお尋ねします。</p> <p>(2) 総務省の提案では、河川、ダム、砂防、治山にかかる浚渫について、国土交通省より対策の優先順位に係る基準を地方団体に対して示した上で、各地方公共団体において各分野の個別計画に緊急的に実施する箇所を位置づけるとしています。そして、地方財政措置として、土砂の浚渫を地方債の起債対象にする。充当率100%、元利償還金に対する地方交付税措置率は70%にするというものです。令和2年度を初年度に900億円が計上されていて、令和6年度までの5カ年間の事業総額を4,900億円に見込んでいます。</p> <p>地方財政にとり大変有利な制度創設と考えますが、市長のご所見を伺います。</p> <p>(3) (2)のとおり、制度を生かす手順をみると、国土交通省が浚渫の優先順位を決めるための「堆積土砂率」や「人家への危険度」などの基準を示し、これを踏まえて各自治体が個別計画に緊急的に実施する浚渫箇所を位置づけるとしています。豪雨被害軽減のために、本市では、こうした個別計画作成に取り組むお考えがあるのかを伺います。</p>	市 長
4	4番 濫 谷 政 義	<p>1. 災害に強い地域づくりと住民の安全について</p> <p>昨年、台風19号により本市も甚大な被害を受けました。ため池の決壊、道路等の冠水、土砂崩れ、住宅の被害は全壊から一部破損を含め数多くの被害を受けました。これらの災害の中から3点について質問します。</p> <p>(1) 大鷹沢地区の、ため池の復旧・復興について以下の点について伺う。</p> <p>① ため池、決壊の検証について伺う。</p> <p>② 災害復旧計画及び日程について伺う。</p> <p>③ 災害復旧作業の工法及び対策について伺う。</p> <p>④ 今回の事例を教訓とした住民の安心・安全の確保について、どのような対策を考えているのか所見を伺う。</p> <p>(2) 鷹巣地区・旭町地区の内水氾濫についての検証結果に基づいた今後の対策について伺う。</p> <p>(3) 防災啓発と安否確認等について以下の点について伺う。</p> <p>① いつ起きるかわからない災害に対し防災啓発活動がもっとも重要と考えますが、本市のさらなる活動方針を伺う。</p> <p>② 昨年の台風による災害を教訓に、白石市防災会議にて検証を行った結果、今後地域防災計画にどのように反映されるのか伺う。</p> <p>③ 本市では、災害時に安否確認のため「無事です」のフラッグを全戸に配布されていますが、配布されているフラ</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
4	4番 澁谷政義	<p>ッグでは水害等の恐れがある時では内容が異なるため、事前用フラッグも必要ではないかと思われる。市長の見解を伺う。</p>	市長
		<p>2. 自治会組織の統合について 本市には、113の自治会組織があります。一つの自治会で最大820世帯から最小で5世帯と地域によってはさまざまです。行政から組織の統合編成を要請することはできませんが、人口減少が避けられない現実を踏まえれば統合等の推進を促すのも行政の役割だと思う。市長の見解を伺う。</p>	市長
5	12番 四竈英夫	<p>1. 台風19号被害の復旧状況について 台風19号被害の復旧状況と、今後の見通しについてお伺いいたします。台風の襲来から4カ月余りが経過しました。台風のもたらした被害は余りにも甚大で、懸命な復旧作業にもかかわらず、まだまだ完全復旧には至っていないのが現状です。安心して暮らせる元の生活を取り戻せる日が、1日でも早く訪れることを心から願っております。なお、国道113号の通行止めに際しましては、山田市長を始め部課長ほか多くの職員の皆様のご尽力をいただき、年内復旧が実現いたしました。多くの皆様から感謝と安堵の声が寄せられています。改めて市当局を始め、関係機関の皆様方に感謝申し上げます。そこで、次の点についてお伺いいたします。 (1) 災害復旧の進捗状況について、被害の程度別・区分別の件数と復旧件数をお伺いいたします。 (2) 復旧までには期間がかかると思われますが、復旧の見通しについてお伺いいたします。 (3) 激甚災害に認定された地区はどの位あったのか、お伺いいたします。 (4) 激甚災害に認定された場合の復旧の手順について、お伺いいたします。 (5) 激甚災害の査定はどこまで進んでいるのか、お伺いいたします。 (6) 農業用水路の損壊や畦畔の崩落等農業関連にも甚大な被害を受けていますが、令和2年度の水稲の作付に支障を来すことがあるのではないかと思います。その場合どんな対策を取るお考えなのか、お伺いいたします。</p>	市長
		<p>2. 新型コロナウイルスへの対応について 新型コロナウイルスによる集団感染が大きな問題となっております。感染力が強く死亡した人も多数に上っております。これまでの国内感染者は2月25日現在850人と報じられております。こうした状況に対応して、本市では2月3日に「新型コロナウイルス感染症等に関する対策本部」が設置されました。迅速な対応に感謝申し上げます。そこで、次の点についてお伺いいたします。 (1) 対策本部を設置するまでの経過と内容(体制等)についてお伺いいたします。 (2) 連携する医療機関はどこかお伺いいたします。</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
5	12番 四 竈 英 夫	<p>(3) これまでに相談を受けたケースはあるのかお伺いいたします。</p> <p>(4) 万が一感染の疑いがあった場合は、どのように対処するのかお伺いいたします。</p> <p>(5) 児童・生徒の感染が大変危惧されますが、どのような対処をされるのかお伺いいたします。</p> <p>(6) 卒業式は大勢の人が出席する行事ですが、どのようにお考えでしょうかお伺いいたします。</p>	市 長 教 育 長
6	16番 菊 地 忠 久	<p>1. 第六次総合計画について</p> <p>本市の最上位計画である第五次総合計画は令和2年度が最終年度となることから、現在、次期総合計画である第六次白石市総合計画の策定に着手しております。</p> <p>(1) 第六次総合計画策定にかける意気込み、思い、どう白石市の将来像を描いているのか所見を伺います。</p> <p>(2) 市民の皆様の声を総合計画に反映させようと、ワークショップを開催しておりますが、どのような意見が出されているか伺います。</p> <p>(3) 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略が令和元年12月20日に閣議決定されました。地方においても、現行の「地方版総合戦略」を検証し、次期「地方版総合戦略」の策定を進める必要があるとしています。現時点で本市の第1期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をどのように検証しているのか伺います。</p> <p>(4) 「第2期白石市創生総合戦略」策定について、「第六次総合計画」との整合性を持たせながら、本市の進むべき具体的な方向性を示そうとするのか、所見を伺います。</p>	市 長
		<p>2. 工業団地造成について</p> <p>本市で整備を進めている、(仮称)白石中央スマートインターチェンジは、現在、国による準備段階調査が行われております。</p> <p>(1) スマートインターチェンジ周辺に工業団地を整備する方針が示されておりますが、現時点でどのようなランドデザインを描いているのか伺います。</p> <p>(2) 先日、山田市市長はご自身の後援会会合の挨拶で、「関心を示している企業がある」旨を述べられました。現時点での企業誘致の見通しについて伺います。</p> <p>(3) 工業団地の整備とともに、そこで働く人たち等のために新たな宅地も整備することが、移住・定住と地域の活性化につながり、重要であると考えますが、所見を伺います。</p>	市 長
		<p>3. 浸水対策について</p> <p>昨年10月の台風19号では、本市でも大きな被害が出ました。特に鷹巣地区や旭町地区は、内水ハザードマップで浸水想定区域に指定されており、実際に台風19号の際も、広い範囲で内水氾濫の被害がありました。地球温暖化に起因すると考えられる近年の異常気象においては、また同ような浸水被害が起きても不思議ではありません。</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
6	16番 菊地 忠久	<p>(1) 斎川において、谷津川との合流付近から鷹巣橋付近に、多くの土砂が堆積しています。早急な土砂の撤去を求める住民の声が多く寄せられます。宮城県初め関係機関等に河道の掘削・浚渫を強く要望すべきと考えますが、所見を伺います。</p> <p>(2) 鷹巣地区において、斎川の水位が上昇し雨水管渠から排水できなくなったことが浸水の原因でした。浸水被害を低減するため、排水機を整備するなど何らかの対策が必要と考えますが、所見を伺います。</p> <p>4. ゼロカーボンシティ宣言について</p> <p>地球温暖化対策として、IPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書では、2015年パリ協定の目標を達成するためには「2050年までにCO₂の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。</p> <p>環境省では、目標の達成に向け、「2050年にCO₂の排出量を実質ゼロにすることを目指す旨を首長自ら公表した地方自治体」を「ゼロカーボンシティ」として国内外に広く発信するとともに、全国の自治体へ表明の検討を呼びかけています。本市でも「ゼロカーボンシティ」を宣言し、脱炭素社会に向けて積極的に施策を展開すべきだと考えますが、所見を伺います。</p>	市長
7	10番 保科 善一郎	<p>1. 議会に対する重要な提案について</p> <p>白石市議会基本条例によると、議会は、市長が提案する重要な計画、政策、事業等について、議会審議における論点情報を整理し、その政策等の水準を高めるため、市長に対し、説明を行うよう求めるものとするがあります。</p> <p>議員にとって丁寧な説明というのは、口頭で済む短い説明もありますが、数年にわたる実績結果や経過説明等、多数の議案審議の前に提案説明を行い、議員からの資料請求があったら積極的に資料を提供するという議会運営のほうはずっと効率的で的確な採決が期待されるのではないのでしょうか。行政当局が政策を立案、計画する中で、調査・研究をしていると思います。集まったよいデータ、結果の悪いデータもすべて共有して、検討しなければ間違った判断になる可能性が大きくなると思います。限られた財源の中で、効率の良い政策を実施する責任は、行政組織にも議会にもあるはずで。行政は持っている資料、データを議会に提供しなければならないと思います。</p> <p>そこで、現在懸案事項となっているスパッシュランドの休館問題について、改めて以下の視点から質問いたします。</p> <p>(1) 休館を必要とする背景についてお伺いします。</p> <p>(2) 提案に至るまでの経緯についてお伺いします。</p> <p>(3) 他の自治体の類似する政策との比較検討についてお伺いします。</p> <p>(4) 市総合計画との関連性及び整合性についてお伺いします。</p> <p>(5) 関係する法令及び条例等についてお伺いします。</p> <p>(6) 財源措置についてお伺いします。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
7	10番 保科善一郎	(7) 将来にわたる政策等の効果及びコストについてお伺いします。	市長
		<p>2. 「サンパーク」について</p> <p>地方創生の「核」となる事業として整備を進めている農商工連携を核とした賑わい交流拠点「しろいしSunPark」について、令和2年度の施政方針によると、本年4月に予定される地元食材活用レストラン「みのりKitchen」のオープンにより、拠点全体のグランドオープンを迎え、昨年4月にオープンした農産物等販売施設「おもしろいし市場」は、市内や県内を中心とした幅広い農産物や特産物の販売拠点として、オープンから約9カ月で34万人を超える方々に利用いただき、農業者や物産事業者にとって販路拡大を実感できる施設として順調な滑り出しを見せています。</p> <p>また、平成30年8月にオープンした子育て支援・多世代交流複合施設「こじゅうろうキッズランド」は、オープンから約1年6カ月で13万人を超える方々に利用いただき、市内外の子育て世代の新たな人気スポットとして定着してまいりました。</p> <p>さらに、昨年11月に整備が完了し、4月からの本格稼働に向けて準備を進めている食の安全や栄養成分を調査分析する研究施設「みのりLabo」と、平成30年7月に操業を開始した6次産業化加工施設「みのりFactory」、そして「みのりKitchen」の3施設が揃うことで、地元の農産物加工販売体制が整ったとしていますが、以下についてお伺いします。</p> <p>(1) 農産物等販売施設の取り扱い実績について</p> <p>① 令和元年度12月末取り扱い金額についてお伺いします。</p> <p>② 令和元年度末推定取り扱い金額についてお伺いします。</p> <p>③ 令和2年度計画金額についてお伺いします。</p> <p>(2) 平成30年7月に操業開始した加工施設「みのりFactory」について</p> <p>① 令和元年度12月末取り扱い金額についてお伺いします。</p> <p>② 令和元年度末推定取り扱い上位品目（数量、金額）についてお伺いします。</p> <p>③ 令和2年度取り扱い計画上位品目（数量、金額）についてお伺いします。</p> <p>(3) こじゅうろうキッズランドについては、施設の年間施設の維持管理経費の5割強を利用料収入の充当で賄うことを想定し、残余は、連携する農商工施設からの応分の負担のほか、広域連携交流の促進に伴う市営観光交流施設の収入増による市歳出（指定管理委託料）の減額、白石市公共施設等総合管理計画策定に基づく公共施設の統廃合・縮小による経費削減効果等で市一般財源を確保することなどにより、平成34年度以降も安定的・自立的な運営が持続できると考えているとしておりますが、以下についてお伺いします。</p> <p>① 令和元年度末収支見通しについてお伺いします。</p> <p>② 令和2年度収支計画についてお伺いします。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
8	7番 高橋 鈍 齋	<p>1. 第一幼稚園休園に関する『凍結』問題について</p> <p>白石第一幼稚園を残す会から議会に対して、第一幼稚園の休園決定の白紙撤回を求め、請願書が提出された。結果、請願が採択され、市長は第一幼稚園の休園を凍結とし、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく「白石市総合教育会議」を開催している。</p> <p>(1) 第一幼稚園は、なぜ休園であり、統合でもなく、廃園でもないのか。「幼稚園アンケート意見」には、休園反対の署名の結果は市民の声であり、市議会においても多数で決議されたにもかかわらず、いまだ『凍結』のままというのはなぜなのか、速やかな休園の撤廃・撤回と園児募集の再開を求めるとあります。今後一切、市行政の都合で休園や統合等を行わないことを求めます。</p> <p>今回、市民の意思、意見を無視した行政のあり方が浮き彫りになったと言われており、市長・教育長はこのアンケートを見て、どのように思うか見解を伺う。</p> <p>(2) 市長は第一幼稚園の休園を凍結するとの措置、これは休園そのものを凍結したとも受け取れる。これまで2回総合教育会議が行われて、関係者や学識経験者、保護者からの意見は十分に聞いたと思うが、これからも何度かこの会議を行っていくのか。また、今後は、新たに第三者委員会を立ち上げ、幼稚園を一園・二園にするのか、一園なら第一幼稚園か、第二幼稚園か、どちらの園舎にするのかなど慎重に議論していただく考えはないのか見解を伺う。</p>	市長 教育長
		<p>2. スパッシュランドの存続について</p> <p>去る10月12日、市は屋内公認50メートルプールを備えた小原のスポーツ施設スパッシュランドについて、開館から25年以上経過し、修繕や維持管理費に多額の費用を要し、また、利用者減少を踏まえ、早ければ年内に結論を出すとの報道が出ました。プール施設利用者の「友の会」は1月1日よりプール存続のための署名活動を始め、3,000人を超える署名と嘆願書を手渡しました。なお、現在も署名活動は続いています。</p> <p>(1) スパッシュランド友の会を含めた署名総数9,000名以上となり、10,000名を超えるのではないかと思われる。また、署名の地域が白石市以外の市町村、県外、水泳関係者などでプール存続を願っております。市長はこの署名数をどう受け止めているのか、スパッシュランド休館についてどのように考えているのか見解を伺う。</p> <p>(2) 市は、10月30日スパッシュランドの現状と今後の運営に関する利用者向け説明会を開き、11月中に2021年3月末での休館を含めた結論を出す方針を示したとあり、市の担当者は赤字だからやめるとは決めておらず、説明会での意見も踏まえ総合的に検討し方針を決定したいとのことでした。</p> <p>また、市長は「施設を閉めることありきではなく、何とか存続させるための方策はないか、皆さんの思いは重く受けとめる」とのことですが、その方策について伺う。</p> <p>(3) 「友の会」はじっくりと市民と話し合いを継続し、相互</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
8	7番 高橋 鈍 斎	理解したいが、いまだ一度も市長との話し合いはできていないとのことです。市長と市民とが一緒に利活用策を模索するための「懇談会」を開催するつもりはないのか、見解を伺う。	市 長
9	13番 高子 秀 明	1. ICT教育の環境整備状況と成果及びGIGAスクール構想への本市の対応について (1) 教育のICT化に向けた環境整備進捗状況を伺う（ICT整備方針で目標とされている水準と照らし合わせて）。 (2) ICT活用による本市小中学校の授業頻度を伺う。 (3) ICT教育の成果の実例を伺う。 (4) 文部科学省の政策「GIGAスクール構想」を受け、市長と教育長の所見を伺う。 (5) 「GIGAスクール構想」において、ハード面である本市のICT教育の環境準備状況を鑑み、現在の構想での期限である令和5年度までの「児童生徒一人一台コンピューター」などの達成への対応をどうお考えか伺う。 (6) 「GIGAスクール構想」運用後の本市における期待値を伺う。	市 長 教 育 長
		2. 市立幼稚園アンケート意見から見える本市の課題 (1) 市立幼稚園として、保護者の意見を取り入れ、延長保育や長期休暇中の保育等のニーズに対応するために、どのような検討がなされているのか伺う。 (2) 両園保護者への第一幼稚園休園の説明会の件で、「誠意を感じない」「話を聞く側に寄り添った方が対応していただきたかった」「親の気持ちになって考えた態度をとってほしい」との言葉が記入されておりますが、このことについて教育長の所見を伺う。 (3) 白石市総合教育会議が1月23日と2月13日の2回開催され、第3回が3月11日開催予定となっており、今回も継続テーマは「本市における幼児教育の充実について」であると思いますが、幼児教育の専門家である「宮城教育大学・佐藤哲也教授」のご意見も踏まえ、現時点での幼児教育の充実について所見を伺う。 (4) アンケートのほかのご意見で「なぜ少子化なのかも考えるべきだと思う」「県南地域には産婦人科が少なく、白石には出産できる病院がない」「医療も充実していないところで子供を産もうと思わない、産んだとしても子供を預ける先がない」「自然豊かで歴史もあり子育てするところにはよいところだと思って決めた（他県より移住）が、今となっては子育てしにくいとしか思えません。荒れている小学校もあると聞いたし、学力も低いらしい、不安しかありません」との切実な現状が記入されております。 市長にお伺いいたします。市長の人脈で産婦人科の医師を白石市に招いて開業、または刈田総合病院に勤務していただくことをご検討いただきたいのですが、いかがでしょうか。 (5) そのほかアンケートに「働くママ」「共働き」「核家族」	市 長 教 育 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
9	13番 高子 秀明	<p>「午前中は仕事をしている」など保護者を取り巻く現実問題が浮き彫りとなっております。幼児教育の充実に関しての課題を解決することによって、待機児童は減る、または解消、保護者は安心して仕事ができる、家庭の所得が上がると思われます。</p> <p>幼児教育・保育への公的な投資により諸外国の研究で経済効果により報告が1990年代には出されており、アンケートのご意見に真摯に対応していくことが長期的・短期的諸問題の解決につながると推測します。令和2年度における「教育改革」をさらに推進し「選ばれるまち」白石となるよう市長は全力を尽くすとおっしゃっていますが、子育て支援のほかの各政策とともに、ぜひとも延長保育、長期休暇中の保育等に力を入れていただきたいと切に願いますが、お考えをお聞かせください。</p>	市長 教育長
10	6番 沼倉 啓介	<p>1. 教育施設のユニバーサルデザイン及びバリアフリーと合理的配慮について</p> <p>過般開催された諸会議において標記の事柄についてその考え方が示されている。それらについて改めて、考え方をお尋ねいたしたい。</p> <p>そもそもユニバーサルデザインの提唱は米ノースカロライナ州立大学デザイン学部デザイン学科のロナルドメイス氏によるもので「できるだけ多くの人利用可能であるようなデザインとすること」が基本コンセプトで、デザイン対象を障害者に限定していない点がバリアフリーとは異なるとしている。</p> <p>しかしながら、日本国内においては「バリアフリー」と「ユニバーサルデザイン」をしばしば混同されており必ずしも正しく理解されていないとされている。</p> <p>また、学校等教育施設のバリアフリー化に関しても、平成16年3月の文部科学省大臣官房文教施設部の指針の中でそれらの推進に関する基本的な考え方が示されている。その内容を述べてみる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害のある児童生徒等が安全かつ円滑に学校生活を送ることができるように 2. 学校施設のバリアフリー化等の教育的意義 3. 運営面でのサポート体制等の連携 4. 地域住民学校教育への参加と生涯学習の場としての利用を考慮 5. 災害時の応急避難場所となることの考慮 <p>等としている。</p> <p>また、合理的配慮のくだりでは、それらについては障害者からの何らかの助けを求める意思の表明があった場合、過度の負担になり過ぎない範囲で社会的障壁を取り除くために必要な便宜のこととされている。また、それらの対象として頻繁に出されていた発達障害にも触れてみたい。文献によれば発達障害とは、生まれつきの脳機能の発達の偏りの障害とし、得意、不得意のこぼこ、その人が過ごす環境や周囲の人とのミスマッチから社会生活に困難が発生する。発達障</p>	教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
10	6番 沼倉啓介	<p>害は外見からわかりにくく、その症状や困りごとは十人十色とされる。そのため発達障害の特性を「自分勝手」「わがまま」「困った子」などと捉えられ「怠けている」「親の育て方が悪い」等批判されることも少なくない。しかし、でこぼこの困難さは環境を調整し、特性にあった学びの機会を用意することで軽減されると同時に、その子の個性、能力、希望などを理解した上で合ったサポートをしていくことが大切だともしています。</p> <p>述べさせていただいたことを総合的に勘案しお尋ねを一つ一ついたします。</p> <p>(1) 過般の会議の中で繰り返し教育施設が複数階の構造の場合、防災、安全面、その他の面で飛び下り等の事故が生じるとお話になられております。そんな折、長年学校現場とも向き合わせていただいておりますが、なぜか現実と乖離性を感じる議論が交わされていると感じてなりません。事例等ありましたら交えてお話をお聞かせ下さい。</p> <p>(2) 障害を持っていない子も、そうでない子も、何ごともなく同化し毎日の生活を過ごしています。その子達のためにどうしてあげれば最善かを思考していただきたいと考えますが、お話があればお聞かせください。</p>	教育長
11	1番 大森貴之	<p>1. 河川・側溝等の対応について</p> <p>(1) 台風19号の被災状況の中で、河川・側溝等の被害状況は最終的に何件になったのか、お伺いいたします(12月10日現在で245件との回答あり)。</p> <p>(2) 今後、浚渫作業が必要と考えられる個所はどの程度あるのかお伺いいたします。</p> <p>(3) 総務省が2020年度に創設する「緊急浚渫推進事業」に該当する河川等は市内にどの程度あるのかお伺いいたします。</p> <p>(4) この事業には、「樹木伐採等も含む」となっておりますが、白石市としてはこの事業を行う予定があるのかお伺いいたします。</p>	市長
		<p>2. サポカー補助金について</p> <p>高齢運転者による交通事故防止対策として、経済産業省・国土交通省により令和2年度の補正予算に、「サポカー補助金」が盛り込まれ、令和2年1月30日に成立しました。</p> <p>令和元年度中に満65歳以上となる高齢運転者に、装置を販売する者(民間団体等＝自動車ディーラー等)に対して実施されますが、白石市としても、市民の大切な生命・財産を悲惨な交通事故から守るためにも、この補助事業に上乗せを実施し、より安全な交通社会を構築していくべきと考えますが、ご見解をお伺いいたします。</p>	市長
		<p>3. 健康寿命延伸について</p> <p>後期高齢者広域連合の事業にも健康寿命延伸に関する事業が盛り込まれております。</p> <p>白石市としても100歳体操の実施や、各種健康診査の推進</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
11	1番 大森貴之	<p>等が行われておりますが、その他令和元年度の実施状況についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 実施されたものと、それを担当された課についてお伺いいたします。</p> <p>(2) 上記項目の中で、後期高齢者広域連合に事業の補助申請をしたものがあればお伺いします。</p> <p>(3) 健康寿命の延伸事業は、高齢になってから行うのではなく、全世代を通じて一貫して実施していくことが重要であるとの観点から、近年、国、県でも、実施内容によっては、各担当の壁をなくし共同で事業を行っていかうとしております。</p> <p>白石市においては今後どのように対応されていかれるのかお伺いいたします。</p>	市長
		<p>4. 漏水対応について</p> <p>(1) 平成30年度末までにおける老朽管更新延長事業において9,022メートル、全体の3%弱が行われ、漏水対応として83件が実施されておりますが、令和元年度における更新工事及び漏水対応件数の状況をお伺いいたします(年度末予想でも結構です)。</p> <p>(2) 平成30年度の実績では1年間でおよそ100万立方メートルの漏水が発生しており、総排水量の約23%を占めております。</p> <p>令和元年度における状況についてお伺いいたします。</p> <p>(3) 漏水監視においては、地表に流出したことによる発見が主ですが、地中内においては、主に、送・配水管上の上下流等に設置された流量計、圧力計等の数値変化によって発見できることが多くあります。</p> <p>これらの監視システムの導入をご検討いただきたいと思いますが、ご見解をお伺いいたします。</p>	市長
		<p>5. 小中学校のプール使用について</p> <p>(1) 昨年の夏季におけるプール使用実績において、気温上昇に伴い熱中症予防の観点から、使用できなかった日数についてお伺いいたします。</p> <p>(2) 今後も地球温暖化の影響に伴う気温上昇や、異常気象等により使用を中止せざるを得ない状況の発生が予想されますが、スパッシュランドの使用も含め対応策があればお伺いいたします。</p>	教育長
		<p>6. 防災士資格取得補助について</p> <p>災害対策における重要事項は「自助」・「共助」・「公助」であり、なかんずく「自助」が最重要であることは多くの方々も周知しておりますが、その個々の力を集約し発揮させる「共助」を率先垂範してくれる役を務められる代表格が防災士と言えます。</p> <p>これまでには栃木県栃木市の職員全員が5年計画で資格を取得するための補助がなされております。また、近隣の角田市、柴田町でもその重要性に鑑み、補助が実施されました。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
11	1番 大森 貴之	白石市としても、「公助」の一環として防災士資格取得希望者への助成をご検討いただきたいと考えますが、ご見解をお伺いいたします。	市長
12	17番 佐藤 秀行	<p>1. 「益岡公園野球場」について</p> <p>益岡公園野球場は、平成28年度から公園施設長寿命化対策支援事業で大規模な改修工事に着手をいたしました。スポーツ環境の充実と各種大会などの開催による交流人口の拡大に努めるため、老朽化が進んでいる益岡公園野球場について、全面改修を2カ年計画で実施し、長寿命化を図り、安全で快適なプレー環境を整えようとするものです。</p> <p>しかし、益岡公園野球場の改修工事は、財政的に市の単費だけで実施することは困難であり、国からの補助を受け実施しているため、平成29年度においては、要望額にはほど遠い予算配分であったことから、工事の進捗が大幅におくれ、計画どおり2カ年で完了させることが非常に困難な状況にありました。</p> <p>それに対し、市としては、益岡公園改修工事はできるだけ早く完成させ、市民の皆様安全で安心してプレーできる野球場にしたいと考えている。あらゆる手段を駆使し、国・県に働きかけ要請、予算の獲得のため、奔走してまいりたいと考えていると、以前市長は質疑にこのようにご答弁されています。改めて、益岡公園野球場改修工事の早期完成、早期使用再開が切望されるところです。</p> <p>そのような中、令和2年度当初予算の主要事業の中に、公園施設長寿命化対策事業（益岡公園野球場の全面改修）として1億1千10万円が計上されています。</p> <p>このことから次の点についてお伺いします。</p> <p>(1) 工期も5年目を迎えた現在の進捗状況も含め、令和2年度の取り組み、見直しについてお伺いします。</p> <p>(2) ネーミングライツ制度の導入・企業広告等についてお伺いします。</p> <p>(3) 野球における地域おこし、交流人口の拡大についてお伺いします。</p> <p>(4) 近隣公園の整備についてお伺いします。</p>	市長
		<p>2. 「オリンピック推進事業」について</p> <p>本市は、これまで東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンとしてベラルーシ新体操ナショナルチーム事前合宿受入や公開演技会、市民交流を実施してきました。また、市長は施政方針の中で、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催される本年は、本市と柴田町、仙台大学で設立した「白石市・柴田町・仙台大学東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会」や「ベラルーシ新体操SAKURAファンクラブ」と連携してベラルーシ新体操ナショナルチームの活動を支援するとともに、本大会への応援ツアーを実施します。さらに、ホストタウンとしてベラルーシ新体操ナショナルチームの活躍を多くの市民が応援できるよう、ライブ放送によるパブリックビューイングを</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
12	17番 佐藤秀行	<p>実施しますと述べられています。 このことについて次の点についてお伺いします。 (1) 本大会への応援ツアーについてお伺いします。 (2) ネズヴィ市を含めた各都市との交流についてお伺いします。</p> <p>3. 「教育関連事業」について 市長は、令和2年度施政方針の中で「教育改革元年」と位置づけた令和元年度は、次世代を担い新たな社会の価値を創造する子供たちに対し、確かな学力の育成を初めとするさまざまな施策を進めてまいりました。市長就任から4年目を迎える令和2年度は「教育改革」をさらに推進するとともに、市民主導による持続可能な地域づくりを推進するため、地域を担う人材の育成を図る取り組みを充実させ、さまざまな目標の実現に向けて「勇往邁進」する所存です。また、学校教育の充実、次世代を担い新たな社会の価値を創造する子供たちの確かな学力育成を図るため、令和元年度に引き続き「教育改革」を進めますとしています。令和2年度については、これまでの事業に加え、新たな事業にも取り組もうとされています。 このことについて次の点についてお伺いします。 (1) この1年、「教育改革元年」を振り返って、また2年目にかける思いを伺います。 (2) 本市の将来を担う子供たちが、他国との歴史や文化の相違を理解・尊重し、共に生きる力、コミュニケーション能力を身につけることを狙いとし、本事業を実施としている外国語・国際理解推進事業についてお伺いします。 (3) 本事業のさらなる充実と発展のために、新規事業を実施していますとしている学力向上プロジェクト事業の充実についてお伺いします。</p>	市長 市長 教育長
13	5番 大野栄光	<p>1. 幼稚園について (1) 第一幼稚園を休園とし、2園を1園にする案件が8月に議員説明会において示された。「幼児教育の充実」と少子化に伴う「園児の減少」等々が主旨とのことであった。10月の幼児教育の無償化により働く母親達には子育て環境が整い経済的負担が軽くなったと思う。本市の160人の出生数が増加に転じてもらえることを願う。 2園を1園にするについて以下の点を伺います。 ① 教育長は昨年12月の厚生文教委員会において「適正規模に近づけて幼児教育の充実を図ることが目的であることから、ヒアリングやアンケート、事前説明や検討会については必要であるとは考えておりません」と説明があった。余りに市民と教育長の思いが乖離していたのか傍聴席からは驚きとざわめき起きた。「ヒアリングやアンケート、事前説明や検討会は必要ない」と説明した真意のほどはどこにあったのかお伺いいたします。 ② 12月議会最終日に「白石市第一幼稚園休園の白紙撤回並びに次年度年少組園児募集の即時再開に関する請願」</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
13	5番 大野栄光	<p>の件が賛成多数により採択された。その後、凍結され総合教育会議に審議が移されているが、教育委員会9月定例会会議録に教育長の第一幼稚園休園の文言が出てきている。いつの時点の定例会で第一幼稚園休園の審議決定がなされたのか伺います。</p> <p>③ 第二幼稚園の優位性が羅列され決定事項に受け取れるが、委員会において、第二幼稚園が選ばれた審議はどの時点でいつ行われたのか伺います。</p> <p>(2) 災害大国日本と言われ、地震、津波、豪雨、川の氾濫、土石流、竜巻等が大規模に災害を引き起こす。10月の台風19号は、被害の大きさに「令和元年東日本台風」と命名された。もはや災害は人の手では守れないと言えます。災害弱者の幼児が学び過ごす場所としての第二幼稚園の災害対応位置について以下の点を尋ねます。</p> <p>① 東日本大震災時、白北地区に比較して、白南地区は道路の決壊、路肩の崩落、軟弱地盤と沈下、議会の現地調査においても記憶に新しいほど災害箇所が多かった。また、隠れ災害と言われる家庭内の家具電気製品の散乱も大きかったと聞く。そのような地域に第二幼稚園は位置している。100名からの園児の過ごすところとして本当に安全を担保できるのか伺います。</p> <p>② 教育長は「地震や火事など有事の際に、2階建ての園舎よりも平家の園舎のほうがより安全に、より早く避難することができる」と言う。しかし、台風19号の時は甚大な被害が発生しており、予知のできる災害ばかりではない。災害を過小評価しているのではないのかと思うが、所見を尋ねたい。</p> <p>③ 東日本大震災において、石巻市大川小児童74名は10名の教職員の方達に守られてグラウンドに50分間留まっていた。走って裏山に避難することなく津波の犠牲となった。行政は遺族の方達と争い最高裁まで持ち込んだ。「救えるべき命を救えなかった」と行政側を断罪した。「釜石の奇跡」「真野小学校の奇跡」と津波を避け、命が助かった子供達が多数あった。教育会議のメンバーの井上委員も一早く子供達を避難誘導し、命を救った教育者である。園内の比較ばかりでなく園外の安全も視野に考えてほしい。園児の安全安心が一番と考えるが、市長のご所見をお伺いします。</p>	市長 教育長
		<p>2. スパッシュランドについて</p> <p>昨年12月、中央公民館において市政懇談会がありました。市長は、2020年オリンピックの終わった後にスパッシュランド休館の方針を示されました。13億5千万円の修繕費がネックとなり、利用者の減少も相まって、老朽化と財政上の理由との旨を述べられました。市内外より5万人からの人たちが利用されており、市民は存続を望んでいますが、以下の点をお伺いします。</p> <p>(1) 休館の方針にあたり、利用者の減少も相まって、老朽化</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
13	5番 大野 栄光	<p>と財政上の理由との旨を述べられた。市民は切実に存続を望んでいる。12月1日の市政懇談会において、スパッシュランド存続の意見や思いを聞いて、市長はどのように感じられたかご所見をお伺いいたします。</p> <p>(2) 35億円の施設なら50年の耐久設計がなされていると思う。大きい施設であれば、入念なメンテナンスが必要であると思うが、約13億円の修繕費について、これまでの保全維持管理等に問題はなかったのか伺います。</p> <p>(3) 27年前、スパッシュランドが建設された当時、自信と確信をもって引き渡しが行われたと思いますが、スパッシュランドを設計した事務所や工事を施工された会社、関係業者の方たちと約13億円の修繕費の根拠の協議はなされたのか伺います。</p> <p>(4) 小原地区は歴史と文化があり、スパッシュランドパークのシバザクラ、大吊り橋、温泉に溪谷と市の観光の一翼である。多くの交流人口の拠点でもあり、地域活性化の中心的存在でもある。休館ともなれば、本市の全体的な意気消沈と地域衰退へと将来を暗示している。存続の努力についてご所見を伺います。</p> <p>(5) スマートインターも国の準備段階調査に採択され、工業団地造成と企業進出になれば、企業はよい学校とよい病院と健康管理施設を求めていると思います。今、休館ではなく最小限の修繕費をもって、向こう5年の運用はできないものか、お伺いいたします。</p>	市長
14	14番 森 建人	<p>1. 新型コロナウイルス感染症について</p> <p>新型コロナウイルス感染症は、昨年12月中国湖北省武漢市において確認されて以降、世界各地で患者発生報告が続いている。</p> <p>WHOは1月30日に新型コロナウイルス感染症について「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」に該当すると宣言し、国は2月1日に新型コロナウイルス感染症を「検疫感染症」に指定した。</p> <p>2月24日時点における日本国内で感染が確認された人は、クルーズ船での感染、チャーター機で帰国した人を含め850人になる。この数はまだふえていくと思われる。</p> <p>そこで、新型コロナウイルス感染症について白石市の取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 対策本部の設置から現在までの動きを伺う。</p> <p>(2) 白石市の観光や経済への影響を伺う。</p> <p>(3) マスクの入手が困難となっている。妊婦以外への備蓄マスク配布が可能かを伺う。</p> <p>2. マイナポイント事業について</p> <p>消費増税対策として現在行われているキャッシュレス・消費者還元事業が6月で終了する。最大5%をポイント還元するこの事業は中小規模店舗と利用者のキャッシュレス化に大いに貢献したと思われる。その後の消費活性化とマイナポイント普及促進を目的に2020年9月からマイナポイント事業が実施される。この事業では、ポイントを得るため</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
14	14番 森 建人	に、マイナンバーカードの取得とマイキーIDの設定が必要となる。 (1) 白石市のマイナンバーカードの交付率を伺う。 (2) マイキーID設定支援を実施するのかを伺う。 (3) マイナポイント事業の促進について伺う。	市長
15	2番 佐藤龍彦	1. スパッシュランドの休館について 昨年12月1日に市民の皆さんに向けて開催された市政懇談会で発表された「スパッシュランドしろいし」の休館について、市民の皆さんやスパッシュランド「友の会」の会員の皆さんより寄せられた声から次の点についてお聞きいたします。 (1) 「公共施設等総合管理計画」の中で、「市民・地域との協働」と明記されていますが、今回のスパッシュランド休館の決定は、その市の方針と矛盾した対応をとっていないか伺う。 (2) 見積もりでは、「電気」「衛生」「空調」の各分野に同額の数字が多く存在していますが市の見解を伺う。 (3) 設計業者、施工業者と協力して修繕を行なったことはないのか伺う。 (4) 「広報しろいし」12月号において、修繕費用の合計額約13億円との見込みを示したことについて伺う。 (5) 劣化診断と関連して、スパッシュランドから改修計画が提出されたことはあるのか伺う。 (6) これまでに市に提出された署名の数を市はどのように受け止めているのか伺う。 (7) スパッシュランド「友の会」の「活性化案」をどのように受け止めているのか伺う。 (8) スパッシュランドが休館した場合、福岡中学校の水泳授業、高齢者のデイサービスなどの利用者に対するケア、幼稚園の子供たちの水遊びなど、今後どのように対応していく考えなのか伺う。	市長
		2. 台風19号による最終処分場被害について 昨年10月の台風19号により、本市にある最終処分場が土砂崩れによる被害を受けました。最終処分場の被災状況及び放射能の空間線量などに変化がなかったのかお聞きいたします。 (1) 台風19号による最終処分場の被害状況について伺う。 (2) 被災後に最終処分場周辺で空間線量等の変化はなかったのか伺う。 (3) 被災後に市が独自に空間線量や地下水などの調査、測定等を実施したのか伺う。 (4) 今後の最終処分場の復旧についてどのようになるのか伺う。	市長
		3. 本市の教育について 先日の市長の施政方針でも触れられておりましたが、「教育改革元年」とした昨年度同様に、今年度もさらに「教育改	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
15	2番 佐藤龍彦	<p>革」を進めていくことが示されておりました。その中において438回定例会などに引き続き、本市の教育の現状、教員の労働環境、教育環境等について質問いたします。</p> <p>(1) 本市の教員の労働時間について伺う。</p> <p>(2) 教職員同士のトラブル（いじめ、セクハラ、パワハラなど）はないのか伺う。</p> <p>(3) 学力テスト実施により、教員、生徒・児童の負担がふえていないのか伺う。</p> <p>(4) 本市が「小中学校英語教育特区」の認定を目指す理由を伺う。</p> <p>(5) 35人以下学級の復活の見通しについて伺う。</p>	市長 教育長